

第 35 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

議事メモ

日 時：令和 2 年 7 月 10 日(金) 20：00～20：23

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

1 参加者

玉城 知事、謝花 副知事、富川 副知事、島袋 政策調整監、
金城 知事公室長、池田 総務部長、宮城 企画部長、松田 環境部長、
宮沢 県警本部長、名渡山 子ども生活福祉部長、大城 保健医療部長、長嶺 農林水産部長、
嘉数 商工労働部長、渡久地 文化観光スポーツ部長、上原 土木建築部長、
伊川 会計管理者、金城 教育長、我那覇 病院事業局長、棚原 企業局長、
真栄城 医療企画統括監

2 報告事項

(1) 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生について

- 総括情報部から 147 例目の患者発生情報について報告
 - ✓ 埼玉県在住の 30 代、男性、建設業。県内累計 146 人目の患者となる。
 - ✓ 旅行に同行していた人達にも P C R 検査を実施中。

(2) 米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 米軍基地内における患者発生情報について報告
 - ✓ 米軍基地関係者に新たに複数名の新規感染者が確認されている。いずれも軽症者または無症状者。
 - ✓ 基地内では渡航歴がある者、確定患者との濃厚接触者、症状がある者に P C R 検査を実施しているとのことであるが、全体の検査件数は報告がない。

(3) 宿泊療養施設及び検体採取の設置について

- 中部地区において、米軍基地関係者に起因する感染拡大を警戒する必要がある、中部地区に P C R 検体採取センターの設置を進めている。
- また、軽症者や無症状者のためのホテルに相当する施設の設置に向けて、急ぎ調整を進めているところである。

3 議 題

(1) 警戒レベル指標における「感染地域」の定義について

- 東京や首都圏で継続的に感染者の発生数が高止まりしている状況が続いており、警戒が必要である。
- 沖縄県の警戒レベル指標の第1段階に応じた実施内容として「感染地域への（からの）渡航者の外出自粛要請」、第2段階で「感染地域への（からの）渡航者の渡航自粛を要請」と設定しており、『感染地域』がどこを指すのかを定義する必要がある。
 - ✓ 総括情報部の案として、①人口10万人あたり週間平均2.5人以上の新規患者が発生している地域、②同1.0人以上の新規患者が発生している地域、③自治体内住民に他地域への移動自粛を呼びかけている地域 の3つの案を提示した。
- 警戒レベル指標に沿った実施内容とすると、観光で来訪した方に「2週間の外出自粛を」と呼びかけることになるが、今回においては現実的ではないため、注意喚起する内容で呼びかけることとする。

<主な意見>

- 7月2日に公表した警戒レベル指標の考え方、内容等について、再確認を求める質問があった。

3 閉 会

- この後、知事コメント内容を調整の上、感染地域からの渡航者や県民などに対する注意喚起を記者発表することを確認し、閉会とした。